

# CASBEE® 京都-新築

## 標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE京都-新築（2015年版）|使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2015（v.1.0）

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)エスロード下京区梅小路高畑町 新築工事	階数	地上7F・地下0F
建設地	京都市下京区梅小路高畑町17番2	構造	RC造
用途地域	市街化区域,準工業区域	平均居住人員	90 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2018年3月15日
敷地面積	1,170 m <sup>2</sup>	作成者	藤原 武士
建築面積	509 m <sup>2</sup>	確認日	2018年3月16日
延床面積	2,670 m <sup>2</sup>	確認者	藤原 武士



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	京都市梅小路という立地にそぐわないようデザイン形状に配慮し、住む人にとって心地よい住環境を提供することを目指す。	その他 特になし。
Q1 室内環境	内装材のほとんどにF☆☆☆☆を使用する。また、十分な昼光、自然換気を可能とすることで室内の快適性向上に努める。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に十分な緑化面積を確保することで、心地よい緑の景観を形成する。
LR1 エネルギー	建物計画段階から一次エネルギー消費量削減に努める。	LR3 敷地外環境 サービス用車両の駐車スペース・駐車場・車寄せのスペースの確保をしており周辺道路の渋滞緩和を図る。
Q2 サービス性能	空調・給排水配管の更新必要間隔を長くすることで、建物の長寿命化を図る。	
LR2 資源・マテリアル	リサイクル材を積極的に採用し、非再生資源の使用量削減を図る。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される